

代 表 者 所 属 施 設	北九州市立総合療育センター TEL (093) 922-5596
代 表 者 氏 名	郡司 紀子
グ ル ー プ 名	ナースレクチャー
結 成 年 月 日	令和 2年 4月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	専門職業人として主体性・自立性を持ち、看護実践能力を高め 質の高い看護サービスを提供できる人材を育成する 研修会・学会などに参加し療育に関する知識を深める
数 値 目 標 の 設 定	学研イーラーニングを使用し指定項目を対象者が100%受講できる 看護科研修会の3回以上/年の開催 院外研修に各部署1名以上参加し伝達研修を行い知識を共有できる
参 加 方 法	看護科教育委員会で年間教育プログラムを作成し、教育委員 を通じてカリキュラムを配布し参加する 参加希望の方は、3北：北村 3南：松下までご連絡ください。
グ ル ー プ の P R	障害の看護は個別的なケアを必要とし、医療的ケアから 日常生活援助、家族看護まで多岐にわたるので色々な資料や研修 参加などで視野を広げ看護の質の向上に役立てたい。
研 修 ・ 研 究 援 助 申 請 予 定 期 間	令和 7年 4月 1日 ～ 令和 8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	北九州市立総合療育センター TEL (093) 922-5596
代 表 者 氏 名	鳥越 清之
グ ル ー プ 名	SS(ショートステイ)利用者の安全で快適な環境をつくる会 (SS会)
結 成 年 月 日	令和 2 年 4 月 1 日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	安全で快適な環境が提供できるよう、必要な環境補助具を検討する 利用者それぞれの安全で快適な環境とは何か、在宅看護について 理解を深めることで、利用者及び家族のニーズ充足につなげる
数 値 目 標 の 設 定	前年度購入したポジショニングピローの利用頻度、利便性について 職員・利用者家族より聞き取り、評価を行う(3回/年)6月、12月、3月 利用者の「快適な環境」にあたる新しい取り組みを2つ以上提案する
参 加 方 法	SSに関わる全ての職員が、自由に意見提案し、参加できる ようにする 参加希望の方は、3北：北村 3南：松下までご連絡ください。
グ ル ー プ の P R	職種問わず、SS利用者サービス向上に向けてのアイデアや ご意見をいつでも受け付け致します。
研 修 ・ 研 究 援 助 申 請 予 定 期 間	令和 年 月 日 ~ 令和 8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	総合療育センターにここに通園 TEL (093) 922-5596
代 表 者 氏 名	三好 綾子
グ ル ー プ 名	スキルアップ研修
結 成 年 月 日	令和 7年 4月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	ハイテク機器や応用行動分析学など専門職としての知識や技術を学び、保育士・指導員の質の向上を目指す。通園で行っている遊び・取り組みの基礎のみならず応用方法も研究し、日々の保育で実施する。
数 値 目 標 の 設 定	学んだスキルを用いた保育を月1回以上実践する
参 加 方 法	総合療育センターにここに通園へ電話連絡にて申し込み
グ ル ー プ の P R	にここに通園では、さまざまな特性を持ったお子さんを受け入れており、子ども達だけではなく、日々保護者への指導も行っている。専門職として必要な知識や保育活動に活かせる技術の向上を全会員で学ぶことができる。
研 修 ・ 研 究 援 助 申 請 予 定 期 間	令和 7年 4月 1日 ～ 令和 8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	北九州市立総合療育センター TEL (093) 922-5596
代 表 者 氏 名	吉原 浩雅
グ ル ー プ 名	重心認定看護師会
結 成 年 月 日	令和 3年 4月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	1. 重心認定看護師の資格維持、更新 2. 特定行為看護師の研鑽 3. スタッフのキャリアデザインとなる
数 値 目 標 の 設 定	重心、小児、医療的ケア児に関する研修に各自2回以上参加 参加した研修の報告会をグループ内で2回以上行う
参 加 方 法	代表者 3階北棟 吉原までご連絡ください
グ ル ー プ の P R	重症児者の方々の毎日が安全で楽しく過ごせること、スタッフが協働しあえること、そして魅力ある重症児看護を伝え後輩を育成していくことが私たちの使命です。これから、施設内外で重症児看護のノウハウを伝える活動を行っていきたいと思っています。
研 修 ・ 研 究 援 助 申 請 予 定 期 間	令和 7年 4月 1日 ～ 令和 8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	北九州市立総合療育センター生活介護事業ナイスディ TEL (093) 922-5596
代 表 者 氏 名	小山 歩
グ ル ー プ 名	生活介護事業 質の向上勉強会
結 成 年 月 日	令和 7年 4月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	専門職としての知識や技術を学び、保育士・指導員の質の向上 を目指す。スタッフ自らが主体的に日々の活動や支援方法に ついて試行錯誤し研究する。
数 値 目 標 の 設 定	一年間の勉強会を終えることで4種以上の支援技術の基礎を知る ※看護・姿勢管理・食事支援・移乗支援・医療機器・心肺蘇生等
参 加 方 法	電話連絡にて連絡ください
グ ル ー プ の P R	主として重症心身障害に関わる支援の基礎を学びます。
研 修 ・ 研 究 援 助 申 請 予 定 期 間	令和 7年 4月 1日 ～ 令和 8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援 助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	総合療育センター指導科生活指導係 TEL (093) 922-5596
代 表 者 氏 名	山口 のぞみ
グ ル ー プ 名	利用者の余暇支援を考える会
結 成 年 月 日	令和 7年 4月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	・利用者のニーズに合わせた余暇活動のバリエーションを増やす ・環境設定についての検討を勉強会を通じて行う ・職員の特技を生かした活動報告、勉強会を実施する
数 値 目 標 の 設 定	外部研修に2回以上参加する。また、重症心身障害療育学会学術集会にて演題発表を行う
参 加 方 法	総合療育センター生活指導係、山口までご連絡ください。
グ ル ー プ の P R	肢体不自由施設及び療養介護施設における利用者支援の在り方を検討してきた。これは、他事業所での支援にも通じると考える。利用者主体・社会参加をテーマに取り組む。
研 修 ・ 研 究 援 助 申 請 予 定 期 間	令和 7年 4月 1日 ～ 令和 8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	北九州市立総合療育センター TEL 093-922-5596
代 表 者 氏 名	原 慎一
グ ル ー プ 名	臨床検査研修会
結 成 年 月 日	平成・令和 5 年 4 月 1 日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	今年度は、検体検査部門の研修に力を注ぎたいと考えています。 生化学、血液、一般、輸血、免疫と幅広いですが、広い分野で知見を広げ、臨床へと役立てていきたいと思います。
数 値 目 標 の 設 定	外部研修会に5回以上参加。 (例)得られたスキルを用いた保育を〇回以上行う
参加方法	総合療育センター医療支援科臨床検査係、原までご連絡ください。
グ ル ー プ の P R	検体検査の基礎から応用までを学び、臨床で役立つ知識を深めます。 また、所属の臨床検査技師が検査に関する疑問や質問にも対応し、実践力を高めます。
研修・研究援助申請 予定期間	令和 7 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 2 月 28 日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	北九州市立総合療育センター TEL (922) 5596
代 表 者 氏 名	中村 愛子
グ ル ー プ 名	メープルツリー
結 成 年 月 日	令和 7年 5月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	感覚統合療法についての新しい情報の確認、臨床的な評価技能や介入技能について知見を深める。
数 値 目 標 の 設 定	月に1回集まって勉強会を開催する。 (勉強会で得た知見は日々の臨床業務で活用する。)
参 加 方 法	現地参加（オンラインなし） 場所は総合療育センター訓練室
グ ル ー プ の P R	子どもの「できた!」や「もっとやりたい!」という気持ちを支えていけるよう、感覚統合の視点から勉強をしています。 ご興味のある方は、お気軽にお問合せください。
研 修 ・ 研 究 援 助 申 請 予 定 期 間	令和 7年 5月 1日 ～ 令和 8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	北九州市立総合療育センター TEL (093) 922-5596
代 表 者 氏 名	河村好香
グ ル ー プ 名	研究デザイン学習会
結 成 年 月 日	令和 5年 11月15日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	多職種連携により質の高い研究を行うこと、多職種参加の利点を 生かし臨床研究研究を行うことで医療・福祉分野の発展に努める。
数 値 目 標 の 設 定	年度内に、今年度または次年度以降に着手する研究課題を3件以上 具体的に設定し、グループ内で共有することを目標とする。 (例) 得られたスキルを用いた保育を〇回以上行う
参 加 方 法	代表者または各メンバーへお問い合わせください
グ ル ー プ の P R	研究の立案に欠かせない「研究デザイン」について意見を出し合い、互いに学び合う 会です。質問や発言を歓迎する雰囲気づくりを大切に、活発な対話を通じて 有益な情報を共有し、研究の実施を目指しています。
研 修 ・ 研 究 援 助 申 請 予 定 期 間	令和 7年 4月 1日 ~ 令和 8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	総合療育センターにここ通園 TEL (093) 922-5596
代 表 者 氏 名	中原 可奈
グ ル ー プ 名	北九州INREAL研究会
結 成 年 月 日	令和 7年 4月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	ことばの発達や、やりとりに問題をもつ子どもや大人に対する コミュニケーションアプローチである「インリアル・アプローチ」 についての研修
数 値 目 標 の 設 定	得られたスキルを用いた関わりを玩具遊びの時間に、1人の子ども に対して、1回以上は実践する（技法を用いた声かけ等） （例）得られたスキルを用いた保育を〇回以上行う
参 加 方 法	総合療育センターにここ通園まで、電話連絡にて参加する
グ ル ー プ の P R	「子どもと楽しく遊ぶ」ことは、簡単そうでコツがいるものです。特に発達特性を もつ子どもさんに対しては難しさを感じることも多いかと思います。関わりの姿勢、 声かけの内容等、自分の関わりを見直す機会を得ることができます。
研 修 ・ 研 究 援 助 申 請 予 定 期 間	令和 7年 6月 1日 ～ 令和 8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	北九州市立総合療育センター TEL (093) 922-5596
代 表 者 氏 名	沖原 翼
グ ル ー プ 名	読み書き外来
結 成 年 月 日	令和 7年 5月 9日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	読み書きの困難さの背景を整理する ----- -----
数 値 目 標 の 設 定	読み書き障害に関連する研修に4回以上は参加 ----- -----
参加方法	総合療育センター訓練科臨床心理系の沖原まで連絡をもらい、 ----- 適宜研修の案内（研修内容、開始日時、場所）を行う
グ ル ー プ の P R	総合療育センターの専門外来の1つである読み書き外来です ----- 各職種の専門性や共通理解向上のための研鑽を行います
研修・研究援助申請 予 定 期 間	令和 7年 5月 12日 ～ 令和 8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	総合療育センター TEL (093) 922-5596
代 表 者 氏 名	有川まどか
グ ル ー プ 名	心理士勉強会
結 成 年 月 日	令和 7年 5月11日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	日々の臨床業務のため、心理士としての視野を広げることを目的とする ----- -----
数 値 目 標 の 設 定	グループでの研修を2回以上行う。 ----- 内、1回は外部講師に研修依頼する予定。 ----- （例）得られたスキルを用いた保育を〇回以上行う
参加方法	総合療育センター訓練科臨床心理係有川までご連絡ください。 -----
グ ル ー プ の P R	心理検査や心理療法、発達障害への理解を深める研修を行います。 -----
研修・研究援助申請 予 定 期 間	令和 7年 5月 11日 ～ 令和 8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	小池学園 TEL (093) 601-2261
代 表 者 氏 名	吉本 由紀子
グ ル ー プ 名	事例検討会
結 成 年 月 日	令和 7年 5月 8日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	様々な障害特性や行動特性を持つ利用者を支援していく中で、 支援困難な事例やケースについて、職員間で意見交換や検討を行い、 利用者の行動問題の改善や生活の質の向上、課題克服等を図る。
数 値 目 標 の 設 定	講師の勉強会で得た知識や支援方法を実践し、その結果を基に 1～2カ月に1回報告・検討を行う。
参加方法	参加したい方は児童係 吉本 または児童係長 岡 まで 小池学園代表電話：093-601-2261
グ ル ー プ の P R	これまでの経験を活かしつつ、専門的な視点からのアドバイスを 基に職員の知識をアップデートし、視点を変えながら柔軟に、 より良い支援ができるよう活動します。
研修・研究援助申請 予 定 期 間	令和 7年 5月 8日 ～ 令和 8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	小池学園 TEL (093) 601-2261
代 表 者 氏 名	佐藤 大介
グ ル ー プ 名	ユニットケアを考える会
結 成 年 月 日	令和 7年 5月 8日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	家族と離れて入所施設での生活を送っている利用者にとって 今、必要な支援は何か、必要な環境は何かをユニットケアを 通して考えていく。
数 値 目 標 の 設 定	研修内容及び購入した書籍等から得られた知識を用いた ユニットケアを半期で2回以上行う。
参加方法	参加したい方は児童係 佐藤 または児童係長 岡 まで 小池学園代表電話：093-601-2261
グ ル ー プ の P R	構成員が様々な職場で勤務してきた経験を活かして、 多角的な視点からユニットケアを考えることができる。
研 修 ・ 研 究 援 助 申 請 予 定 期 間	令和 7年 4月 1日 ～ 令和 8年 2月 28日

代 表 者 所 属 施 設	小池学園 TEL (093) 601-2261
代 表 者 氏 名	古川 聖恵
グ ル ー プ 名	地域支援で余暇支援を考える会
結 成 年 月 日	令和7年5月1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	障害のある児童の余暇活動について研鑽を深め、具体的な余暇支援の 取り組みを通して、児童の興味や関心、発達段階に合わせた余暇支援の 在り方を検討していく。
数 値 目 標 の 設 定	研修で得た知識を用いた余暇活動を3回以上行う。 ----- -----
参加方法	参加したい方は放課後等デイサービス古川または地域支援係長高井まで 小池学園代表電話：093-601-2261
グ ル ー プ の P R	児童たちがより楽しく過ごすことができるような余暇活動について更に 知識を深め、実践につながるような研修を行う予定。 ----- -----
研修・研究援助申請 予 定 期 間	令和 7年 5月 1日 ～ 令和 8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	小池学園 TEL (601) 2261
代 表 者 氏 名	梶山 大貴
グ ル ー プ 名	余暇を考える会
結 成 年 月 日	令和 7 年 5 月 8 日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	ユニットケアが定着し、居室で過ごす時間も増え、利用者の個別性に合わせた余暇の充実が求められている。余暇を通じて利用者が落ち着いて過ごす事が出来る環境調整を行っていく。
数 値 目 標 の 設 定	年度に3回以上余暇を考える会としての話し合いを行う。
参 加 方 法	参加したい方は児童係 梶山 または児童係長 岡 まで 小池学園代表電話：093-601-2261
グ ル ー プ の P R	私たちは、利用者の個別性に基づいてひとりひとりに合った余暇の提供を考えます。また、個別性を重んじながらも共通で利用できる余暇の充実も考え、良い学園生活が送れるよう整備していきます。
研 修 ・ 研 究 援 助 申 請 予 定 期 間	令和 7年 5月 8日 ～ 令和 8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	障害者支援施設ひよりの丘 TEL (093) 619-0010
代 表 者 氏 名	草野奈央
グ ル ー プ 名	あくていのレクリエーションを考える会
結 成 年 月 日	令和 7 年 4 月 1 日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	生活介護事業所「あくてい」にて、知的障害者が過ごしやすい 環境づくりや様々な活動を提供し、ご利用者の高齢化に伴い、 機能維持も目的としながら、生活の質の向上を目指す。
数 値 目 標 の 設 定	季節毎に季節を感じ取れる環境作りを行う。 製作したものを定期的に展示する。
参 加 方 法	生活介護の時間帯で参加希望のご利用者構成員で参加する。参 加希望者はひよりの丘代表/草野まで
グ ル ー プ の P R	ご利用者が落ち着いて過ごせる環境を提供し、豊かな時間を過 してもらえようレクリエーションの内容を検討し提供します。
研 修 ・ 研 究 援 助 申 請 予 定 期 間	令和 7 年 6 月 1 日 ～ 令和 8 年 2 月 28 日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援 助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	障害者支援施設 ひよりの丘 TEL (093) 619-0010
代 表 者 氏 名	葛下 花子
グ ル ー プ 名	豊かな生活を送るために～利用者の生き方を考える～
結 成 年 月 日	令和 7 年 4 月 1 日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	支援第2係グループホームはご利用者の高齢化が進み、60～70代のご利用者が半数近くを占めている。同時に10代のご利用者も新たに 入居し、幅広い年齢層の方々が生活をしている。これからの残りの人生を、これからの長い人生を実りある時間を過ごせるよう考え支援していく。
数 値 目 標 の 設 定	年に数回、ご利用者への余暇活動の提供について話し合いをする。それを基に余暇活動の提供を行う。
参 加 方 法	生活介護及び共同生活援助の時間帯で参加希望のご利用者構成員で参加する。参加希望者はひよりの丘代表/葛下まで
グ ル ー プ の P R	ご利用者がその人らしく生活できるよう、より豊かな生活を送れるよう、実りある人生を生きるために、私たちができることを考え、ご利用者の生活を支えていきます。
研 修 ・ 研 究 援 助 申 請 予 定 期 間	令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	ひよりの丘 TEL (093) 619-0010
代 表 者 氏 名	古川 香奈江
グ ル ー プ 名	居住施設の中で豊かな生活を考える会
結 成 年 月 日	平成 18年 4月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	「楽しむ・作る・参加する」を目的として、利用者主体と構成員で作品を作り上げ作品展に出展する。その中で「利用者一人ひとりが楽しみ参加できる作品作りとは何か」を、構成員が考える。
数 値 目 標 の 設 定	年間を通して作品展に出品4点を目標にする。
参加方法	なないろグループ、またはおひさまグループで行う、日中活動「制作日」に活動の場を設ける。事前に活動内容と日取りを確認後、参加可能。
グ ル ー プ の P R	昨年の研究テーマ内で行った、利用者全員の協力で一つの作品を作り上げ、作品展に出展出来た経験は、利用者並びに支援員の心に残るものとなった。一年を通して多種の作品を共に作り上げる喜びを味わう。
研 修 ・ 研 究 援 助 申 請 予 定 期 間	令和 7年 5月 1日 ～ 令和 8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	ひよりの丘 TEL (093) 619-0010
代 表 者 氏 名	加留部 裕子
グ ル ー プ 名	活動を通して輪・笑・和を考える会
結 成 年 月 日	令和7年4月1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	ひよりの丘の1係女性グループホームにて、豊かな調和を図り、笑顔溢れる輪を大切に、和やかな雰囲気で過ごしやすい活動を計画し、質の向上に向けた実践を図る。
数 値 目 標 の 設 定	和やかな雰囲気ですぐしやす活動を計画し設ける。 年間1回、外部からのパフォーマンス活動の時間を設ける。
参加方法	余暇時間帯に利用者、構成員で参加する。 代表者へ参加希望にて構成員所属となる。
グ ル ー プ の P R	グループホーム時間帯で実りある活動を提供していきたい。また、利用者の心の豊かさにも繋がる工夫した取り組みと、穏やかな生活にも変化を取り入れて、笑顔溢れる輪を意識しながら目指したい。
研 修 ・ 研 究 援 助 申 請 予 定 期 間	令和7年4月1日 ~ 令和 8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	ひよりの丘 TEL (093) 619-0010
代 表 者 氏 名	樋口 順子
グ ル ー プ 名	ミュージックケア研究会
結 成 年 月 日	令和7年4月1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	ひよりの丘の利用者に対し、加賀谷式音楽療法ミュージック・ケアを実践し、利用者の生きがいや豊かな生活を提供することを目指すとともに、支援員の技術の向上を図る。
数 値 目 標 の 設 定	年間6～8回、ミュージック・ケア実践の時間を設ける。
参 加 方 法	生活介護時間帯に利用者、構成員でセッションに参加する。 参加されたい方は、ひよりの丘 代表者/樋口までご連絡下さい。
グ ル ー プ の P R	加賀谷式音楽療法を用い、生活介護時間帯で実りある活動を提供していきたい。また、利用者の機能訓練にも繋がる動作があり、ADLの維持を意識しながら個々の技術向上を楽しみながら目指したい。
研 修 ・ 研 究 援 助 申 請 予 定 期 間	令和7年4月1日 ～ 令和8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	引野ひまわり学園	TEL (093) 621-0015
代 表 者 氏 名	洲上 愛美	
グ ル ー プ 名	こども発達支援勉強会	
結 成 年 月 日	令和 5年 4月 5日	
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	発達障害の特性、SST、応用行動分析、TEACCHプログラム、ペアトレ、 保護者支援など幼児期に必要な支援のスキルを学び身に付けることを目指す	
数 値 目 標 の 設 定	講義や事例検討で講師から教わったスキルを次回の勉強会までに 2回以上実践する	
参加方法	講義や療育について学び理解を深め実践に繋がります。 療育について学びたい、支援について相談したい方は誰でも参加可能 です。参加希望の方は引野ひまわり学園の洲上までご連絡ください。	
グ ル ー プ の P R	幼児期の療育について基礎から将来を見据えた応用まで幅広く 学ぶことができます。職種や経験年数など参加条件はあり ません。療育について学びたい、支援について相談したい方 は誰でも参加可能です。また、途中参加・退出ができるため、 ライフスタイルに合わせて気軽に参加ができます！	
研修・研究援助申請 予 定 期 間	令和 7年 6月 1日 ～ 令和 8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援 助の期間は最大2年度を上限とします	

代 表 者 所 属 施 設	若松ひまわり学園 TEL (093-751-2719)
代 表 者 氏 名	上田 有希子
グ ル ー プ 名	発達支援勉強会
結 成 年 月 日	令和 7年 4月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	講師（花田栄子先生）を招いて、発達障害を有する子どもの支援について学ぶ。
数 値 目 標 の 設 定	講義を受け知識を高める。また、事例検討会を実施後は、日々の療育の中で2回以上実践し、結果を次の検討会で報告する。
参加方法	若松ひまわり学園の上田までご連絡ください。
グ ル ー プ の P R	若松ひまわりの指導に関わる全職員が自主勉強会への参加を希望している。園内研修に加え、この自主勉強会で、更に知識を高められるものと思う。
研 修 ・ 研 究 援 助 申 請 予 定 期 間	令和 7年 4月 1日 ～ 令和 8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	到津ひまわり学園 TEL (093) 592-4739
代 表 者 氏 名	樋熊 栞
グ ル ー プ 名	スキルアップ勉強会
結 成 年 月 日	令和 4 年 5 月 1 日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	職員のスキルアップを目的に、障害のある子どもの保護者支援の基本や、子どもへの対応、ケース検討、最新の発達障害を巡る動向などの研修や必要に応じて外部講師を招く。
数 値 目 標 の 設 定	月に1回のペースで開催をしていきます。年間で手遊び、ダンスを5種類以上習得します。職員の6名以上の参加をしてもらえるように勉強会の内容を検討していく。
参加方法	勉強会の内容や、年間予定を回覧し、参加職員を募っている。 参加希望の方は、到津ひまわり学園までご連絡ください。
グ ル ー プ の P R	日々の保育に役立つ知識や技を実践的に身に付けることができる時間です 「わからない」「ちょっとの不安」を職員間が、コミュニケーションをとりながら気軽に悩みを相談できる環境です。
研修・研究援助申請 予 定 期 間	令和 7 年 5 月 1 日 ～ 令和 8 年 2 月 28 日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	かざし園 TEL (093) 391-5080
代 表 者 氏 名	野口 恵美
グ ル ー プ 名	資格取得受験対策勉強会
結 成 年 月 日	平成 28年 2月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	介護支援専門員、介護福祉士等資格取得を目指す職員の勉強会 ----- -----
数 値 目 標 の 設 定	資格取得合格率50%以上を目指す ----- ----- (例) 得られたスキルを用いた保育を〇回以上行う
参 加 方 法	かざし園事務室 (093-391-5080) までお問合せください。 -----
グ ル ー プ の P R	特別養護老人ホームかざし園では提供するサービスの質を確保し、 利用者や家族の皆様に満足していただくことが重要であり、 ----- そのためには職員の資質の向上が不可欠である。
研 修 ・ 研 究 援 助 申 請 予 定 期 間	令和 7年 4月 1日 ~ 令和 8年 2月 28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします

代 表 者 所 属 施 設	北九州市立 長浜児童館 TEL (093) 551-4010
代 表 者 氏 名	岩本 友香
グ ル ー プ 名	プランニングJ
結 成 年 月 日	平成 29年6月1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	児童厚生員の企画力向上と情報交換の場を設定し、専門技術のスキルアップを目指し、児童館での実践活動に活用することを目的とする。 また、こども家庭庁発出の改訂ガイドラインを読み込み、自分たちの取り組みがより良くなるように学びを深める。 FUKUOKA児童館ネットワークとの連携も図り、運動遊びや工作などの実践を通して、意見交換などを行う。
数 値 目 標 の 設 定	学んだことをそれぞれの児童館で実践する。 *あそぼうさい、歌遊び、運動遊びなど 月1回開催予定（長期休暇期間等繁忙期は除く）
参 加 方 法	半期ごとに日程・プログラムを組み、他館へ告知する。 参加希望者は、長浜児童館 岩本宛に連絡にて申し出る。
グ ル ー プ の P R	様々な分野の事例を学び、実際に大人が経験してみると、子どもたちへの「出し方」「声のかけ方」が変わってきます。 また、会議の進行や板書、ファシリテーション等、児童厚生員として基本的なことが出来るように体験します。 一緒に学んでいきましょう。
研 修 ・ 研 究 援 助 申 請 予 定 期 間	令和7年6月1日 ～ 令和8年2月28日 ※援助の申請・決定は年度毎とし、同一の研修テーマによる援助の期間は最大2年度を上限とします